



# とうきょう すくわくプログラム

## 2024年度活動報告書

### 北新宿雲母保育園



## テーマ【 植物 】

### 設定した理由・背景

戸外活動で公園に行った際に、植物を大切に持ち帰る子どもが多くいた。また、低年齢の子どもは花が咲いているとすぐに気づき、落ち葉があると踏みしめる等身近な自然に興味を持つ姿があった。そこで、持ち帰った植物から学びを深めたり、公園にある植物を観察したりと、子どもたちにとって身近な植物を探求しようと考えた。

### 用意した環境設定

- ・公園で集めた植物、図鑑、顕微鏡、スケッチブック、色鉛筆、絵具、クレヨン、模造紙、カメラ、折り紙
- ・様々な公園に行き、様々な種類の植物に触れたり、採取をしたりし、植物の違いを観察できるようにした。

## 活動のあゆみ

【開始】 1月15日 帰りの会の時間に図鑑や絵本を用いて植物についての話を行う。

### <1月テーマ>公園にどんな植物があるか知ろう。

1月17、24日 主活動の時間に様々な公園に行き植物採取を行う。様々な植物に触ってみる。

### <2月テーマ>植物の名前はなんだろう。植物はそれぞれ違いがあるの？

2月5、6日 主活動時に顕微鏡を用いて植物観察を行う。植物の感触の違いを味わう。年長児クラスにて、顕微鏡で見たもののスケッチを行う。

2月18日 植物の図鑑を見る。

2月19日 植物の図鑑を持って散歩に出掛け、見つけた植物を図鑑で調べる。花の色について知る。

### <3月テーマ>季節によって植物は違うの？

3月6日 季節の移り変わりによって植物に変化があるか探索をする。

3月17日 虫眼鏡等を用いて、植物の観察をする。

3月24日 図鑑を用いて春の自然を調べる。

## ＊探究活動の実績＊

①「冬の植物ってなんだろう？」の問いから始め、「では、植物と植物でない物の違いは？」と続ける中で、「植物だと思うものを探してみよう」と探索活動を開始した。探索を行う中で、様々な植物がある事を知り、探究を行う中で、出てくる疑問や発見を元に、次のテーマや問いを増やしていった。

②「冬の植物を探す」中で、幼児クラスでは、「茶色い葉っぱばかりだった」との声が上がる。乳児クラスでは、落ち葉を踏み、感触を楽しむ姿があった。探索活動を行っている際に、「お花があった」「葉っぱがあった」など漠然とした気づきであることに保育者が気が付き、「植物にもそれぞれ名前があるよ」「よく見たら同じお花でも違うかもしれないよ」などと声掛けを行った。

③保育者の声掛けを通して子どもがより注意深く植物を観察したり、図鑑で調べたりする姿も見られるようになった。乳児クラスでは「バンジーだ」「すいせんだ」などと名称を知る子どもが増えたり、同じ花でも色が違うことに気が付き、友だち同士で色を伝えあったりする姿もあった。幼児クラスの子どもは顕微鏡を用いて観察を行い、「お花の中に、いろいろ入っているよ」と中に雄しべや雌しべがあることに気が付き、さらに花によって違いがあることに気付く子どももいた。気付いた子どもを起点に次々と花の中を観察する子どもが増えた。中には植物だけではなく、石、霜柱なども併せて観察をし、「石はザラザラだった。植物はつるつるしてて毛が生えてたよ」と植物と植物でないものを比べる姿も見られた。顕微鏡を通すことで違いがあることを知った子どもたちは、「これはつるつるだね」「こっちは毛があるね」などと互いに伝え合い、探究を深める姿があった。

④植物に関する関心が高まり、図鑑を持って散歩に出掛けることが常となった。また、同じ葉っぱでも違う模様があることに気付く姿などもあるので、更に探究を深めていくとともに、自ら栽培をする機会も設けていく。

石と植物って何が違う？



5歳児が「植物の正体は何だ？」と調べる様子



お花が咲いてる！

2歳児が、バンジーを見つけ図鑑で探す様子

お名前なんだろう？



これはなんだ？



触ってみよう！

1歳児が見つけた植物におそるおそる触れ、どこから来たか疑問に持ち、探す様子

あれと同じだ！



## まとめ

活動前は季節の植物に対して関心が薄く、背景となっていたり「花」「葉っぱ」という漠然としたくりであったが、活動を進めるにあたって子どもの興味や探究心が高まっている。観察を行う中で、子どもの発見、疑問が高度になる様子が見られたので、保育者自身も子どもと共に探究を行っていく必要がある。また、子ども同士の活動をクラス隔たりなく全職員で共有できたことは大変有意義であった。来年度以降、季節の変化に注目して植物の観察を続けると共に、色水作り、染め物、植物を用いた製作物（押し花や木の実の玩具など）を行う中で、植物のもつ特性への興味を深めることができるようにしていきたい。また、季節の自然物お散歩マップなどを作成する中で、環境によって植物が違うのか？などさらなる探究を行う事が出来ればと考える。